

安全データシート

製造者情報	会 社 名	株式会社イコル
	住 所	大阪府大阪市北区西天満 5-14-7-5F
	担 当 部 門	製品開発部
	電 話 番 号	06-6311-7650
	F A X 番 号	06-6311-7651
	緊 急 連 絡 先	同上
	作 成 日	平成 23 年 4 月 1 日
	改 定 日	令和 4 年 4 月 7 日

整理番号 【E0001】

製品名 (化学名、商品名) 食品添加物 アルコール製剤 アルコール EA-75

【危険有害性の要約】

GHS分類(エタノール(事業法アルコール)として)

物理化学的危険性

引火性液体	区分 2
自然発火性液体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
金属腐食性化学品	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	: 区分に該当しない
急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入:気体)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入:ミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷/目	: 区分 2B
刺激性	
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原生	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 区分 1A
特定標的臓器毒性(単回暴	: 区分 3(気道刺激性、麻醉性)
露)	
特定標的臓器毒性(反復暴	: 区分 1(肝臓)、区分 2(神経系)
露)	
誤えん有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期(急	: 区分に該当しない
性	
水生環境有害性 長期(慢	: 区分に該当しない
性))	

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外

<GHS ラベル要素> :
 絵表示 : 炎、感嘆符、健康有害性



注意喚起語 : 危険 危険 警告

危険有害性情報 : 引火性の高い液体及び蒸気
 眼刺激
 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
 呼吸器への刺激のおそれ
 眠気やめまいのおそれ
 長期にわたる、または、反復ばく露により肝臓の障害
 長期にわたる、または、反復ばく露により中枢神経系の障害のおそれ

注意書き : 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること(禁煙)
 容器を密閉しておくこと
 防爆型の電気製品、換気装置、照明装置を使用すること
 火花を発生させない工具を使用すること
 静電気放電に対する予防措置を講ずること
 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること
 取扱い後は、手をよく洗うこと
 使用前に取扱説明書を入手すること
 ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
 屋外又は換気のよい場所でのみ使用すること
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと

組成・成分情報

化学名	化学式・化学名	法規制番号	CAS No.	国連分類	国連番号	含有量(%)
エタノール	C ₂ H ₅ OH	2-202	64-17-5	クラス 3	1170	73.10
DLリンゴ酸	C ₄ H ₆ O ₅	(2)-1442	6915-15-7	該当せず	該当せず	0.40
グリセリン脂肪酸エステル	モノラウリン酸デカグリセリル	7-1145	34406-66-1	未分類	未分類	0.30
DLリンゴ酸 Na	C ₄ H ₄ Na ₂ O ₅	(2)-1499	676-46-0	該当せず	該当せず	0.10
グリセリン	C ₃ H ₅ (OH) ₃	2-242	56-81-5	該当せず	該当せず	0.05
精製水	H ₂ O	該当せず	該当せず	該当せず	該当せず	26.05

濃度:主成分 エタノール 73.10w/w%

単一製品・混合物の区分 エタノールを主剤とする混合物(事業法アルコール)

一般名:エタノール製剤

応急措置

眼に入った場合	:	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて
目の刺激が続く場合	:	医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	:	直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
吸入した場合	:	患者を直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静にする。症状のひどい場合は直ちに医師の手当てを受ける。
ばく露又はばく露の懸念がある場合	:	医師の手当てを受ける。

火災時の措置

消火方法	:	初期の火災には、大量の水噴霧、又は粉末、炭酸ガス等の消火器による消火を行う。
消火剤	:	水、粉末、炭酸ガス

漏出時の措置人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・関係者以外の立入りを禁止する。
- ・高濃度の蒸気にさらされないように保護眼鏡、防毒マスク、ホースマスク等適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

- ・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。
- ・大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

- ・少量の場合には、こぼれた場所へ速やかに大量の水で洗い流す。
- ・大量の場合には、漏出液を密閉式の空容器に出来るだけ回収し、回収出来なかった場所へは大量の水で洗い流す。

二次災害の防止

- ・浸透性及び揮発性があるので、付近の着火源となるものは速やかに取り除く。

取り扱い及び保管上の注意

取扱い技術的対策	:	「曝露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所廃棄・全体排気	:	「曝露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、換気に注意する。
注意事項	:	<ul style="list-style-type: none"> ・みだりに火気その他点火源となる恐れのあるものに接近させ若しくは注ぎ、蒸発させ、又は加熱しないこと。 ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。 ・取扱い及び保管施設の電気設備は、全て防爆構造とし、アルコール流動その他によって静電気を発生させる恐れのある場所にはこれを有効に除去する装置を設けること。 ・取り扱う設備のある場所を常に整理整頓し、その場所に可燃性のもの、又は酸化性のものを置かない。

安全取扱注意事項 : 安定性及び反応性」を参照
また、消防法上に則った保管数量、保管場所で保管する。尚、指定数量については地方自治体の条例により定められていることがあるため、所轄の消防署で確認する。

保管
適切な保管条件 : ・保管は消防法上の貯蔵設備で行い、通風をよくし蒸気が滞留しないようにする。また、指定数量未満のものについても、火気その他危険な場所から遠ざけ通風をよくし、温度、湿度、遮光に注意し、冷暗所に保管する。
・消防法の第1類及び第6類の危険物との混合貯蔵は禁止。また、非危険物との混合貯蔵については、原則禁止であるが、例外として危険物以外の可燃性固体類又は引火性液体類とを貯蔵する場合は、それぞれをとりまとめて貯蔵し、かつ相互に1m以上の間隔を置く場合には、貯蔵することができる。

暴露防止及び保護措置

許容濃度 : STEL 1,000ppm(1,880mg/m³)
設備対策 : 取扱いについては、火気のない換気のよい場所で行う。
保護具 呼吸器用の保護具 : 高濃度の場所では有機ガス用防毒マスクを着用する。
手の保護具 : ゴム手袋を着用する。
目の保護具 : 高濃度の場所では保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具 : ゴム前掛、安全靴、帯電防止衣服を着用する。

物理／化学的性質

形状 : 液体
色 : 透明液体～微黄色透明液体
臭気 : エタノール臭
味 : エタノールの味およびやや苦味
比重 : 0.880～0.875
アルコール度数 : 74.5～76.0度
pH : 4.00～5.50
溶解性 : 水によく溶ける

危険性情報(安定性・反応性) 主成分エタノール 100%としての参考値

融点 : -114.5°C
蒸気圧 : 5.878kPa(44.1 mm Hg) : 20°C
爆発限界 : 下限 3.3 Vol% ~ 上限 19.0 Vol%(空气中)
融点 : 78.32°C
蒸気密度 : 1.59
溶解性 : 水に良く溶ける
引火点 : 13°C
発火点 : 439°C
安定性 : 高温、直射日光、火気をさけること
危険有害反応可能性 : 硝酸、硝酸銀、硝酸水銀、過塩素酸マグネシウムなどの強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む) 主成分エタノール 100%としての参考値

皮膚腐食性 (区分に該当なし)	:	情報なし
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 (区分 2 B)	:	OECD TG405 の Draize testに従った試験により「moderate irritating」と評価されている。 ヒトで角膜上皮の障害、結膜充血は 1,2 日間で回復する。 ・目 ラビット : 100mg/24h 症状(中度)
皮膚感作性 (分類できない)	:	情報なし
急性毒性 (区分に該当なし)	:	ラット(経口) LD ₅₀ : 7,060mg/kg 呼吸器系
発がん性 (分類できない)	:	IARC では、「アルコール性飲料としてヒトに発がん性がある」としてグループ 1 に分類しているが、これは、アルコール性飲料を習慣的に摂取するヒトの多数の疫学調査に基づき、アルコール性飲料と食道系及び肝臓のがんの因果関係を認めたものである
生殖細胞変異原性 (分類できない)	:	・ラット及びマウスにおける優勢致死試験において、陽性結果の報告がある。
呼吸器感作性 (分類できない)	:	情報なし
変異原性 (分類できない)	:	小核 マウス(腹腔): 1,240mg/kg・48h
生殖毒性 (分類できない)	:	アルコールの習慣的な大量摂取によりヒト胎児に対する奇形その他の悪影響が多数報告されている。 ・吸入 ラット : TCL0 20, 000ppm/7h, 妊娠, 1~22日 ・経口 ラット : TDL0 44g/kg, 妊娠, 7~17日
特定標的臓器・全身毒性(単回曝露) (区分 3(気道刺激性、麻酔性))	:	ヒトでエタノールの経口摂取により中枢神経系に影響を与え、頭痛、疲労、集中力を低下させ、急性中毒の場合は、死に至ることがある。 ヒトで5000ppm(9.4mg/l)の吸入により気道刺激性、昏迷、病的睡眠を起す。
特定標的臓器・全身毒性(反復曝露) (区分 1(肝臓)、区分 2 (神経))	:	ヒトでアルコールの長期大量摂取によりほとんど全ての器官に障害を起すが、最も悪影響を与える標的臓器は肝臓である。障害は脂肪変性に始まり、壊死と繊維化を経て肝硬変に至る。アルコール中毒患者の禁断症状(振戦症状、てんかん、精神錯乱)
誤えん有害性 (分類できない)	:	情報なし

環境影響情報

生体毒性	:	情報なし
残留性・分解性	:	情報なし
生体蓄積性	:	情報なし
ノニルフェノール系非イオン界面活性剤を含め、環境庁が内分泌攪乱物質(いわゆる環境ホルモン)と位置付けした指定物質は一切配合していない。		

廃棄上の注意

残余廃棄物	:	廃棄物処理業者に処理を依頼する
廃棄	:	関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
*取り扱い及び保管上の注意の項を参照のこと		

輸送上の注意

国 際 規 制	
国 連 分 類	: クラス 3(引火性液体類)
国 連 番 号	: 1987(アルコール類) 容器等級 II
国 内 規 制	
航 空 法	: 規則第194条 3 引火性液体 (引火点60℃以下)
港 則 法	: 規則第12条 危険物告示別表 2号 ホ
海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律	: 施行令別表第13号 イ 20 Z 類物質
危険物船舶運送及び貯蔵規則	: 第2条第1号 ハ (1) 引火性液体

*取り扱い及び保管上の注意の項を参照のこと

適用法令

労働安全衛生法	: 施行令 別表第1 危険物 第4号 引火性の物 3 (エタノール) 施行令 別表第9 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 61(エタノール)
化学物質管理促進法	: 該当しない
薬事法	: 該当しない
食品衛生法	: 第2条 食品添加物

*取り扱い及び保管上の注意の項を参照のこと

その他(記載内容の問い合わせ先、引用文献等)

参考文献

財団法人バイオインダストリー協会 : アルコールハンドブック第9版(1997)
 社団法人日本化学会編: 化学便覧(改定4版)p. I - 280、I - 604、丸善(1993)
 化学工業日報社: 13700の化学商品.
 化学工業日報社: 国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版第3集(1997)
 通産省公報(平成5年12月28日)
 Verschueren, K. : Handbook of Environmental Data on Organic Chemicals 4th
 独立行政法人製品評価技術基盤機構GHS分類結果 ID:m-nite-64-17-5_v1(2013年度)
 DFGOT(1996)、ACGIH(2009)、DFGOT vol.12(1999)、IARC vol.144(1988)、ICSC(2000)、HSDB(2003)

この SDS は、JIS Z 7253(2019)に準拠して作成しております。記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、保証をなすものではありません。

なお、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

なお、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。